



吸収・除去系カーボンクレジット創出促進事業

本事業の概要の紹介

令和7年度採択事業 中間報告会

令和8年(2026年)4月24日

吸収除去系クレジット市場は日本・海外ともに急速に拡大中。更なる普及拡大に向けて 創出コスト低減やMRV手法が重要に

吸収除去系クレジットを巡る国内外の動向

取引量



先進的な大手企業中心に取引量が急増中。
今後幅広い企業に更に拡大する可能性

- 日本でも商社・海運・金融を中心に10~100万トン規模の購入契約の動きが拡大

創出コスト



技術開発や取組によるクレジット創出コストの削減が重要な時期に

- 殆どのCDRテーマで2030年にかけて3~5割のコスト削減が進む見込み

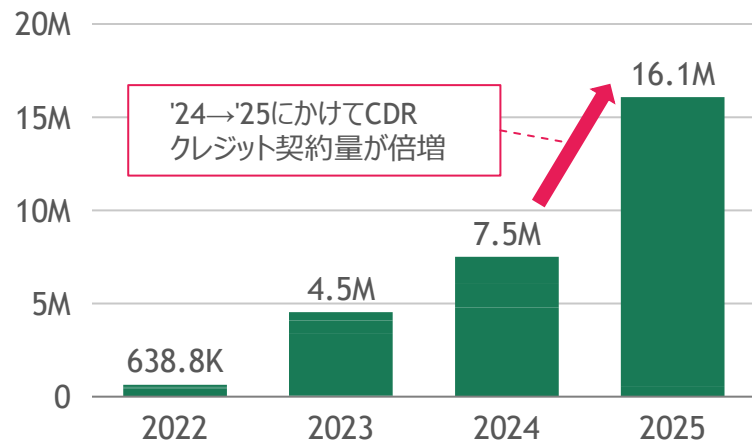
クレジット品質



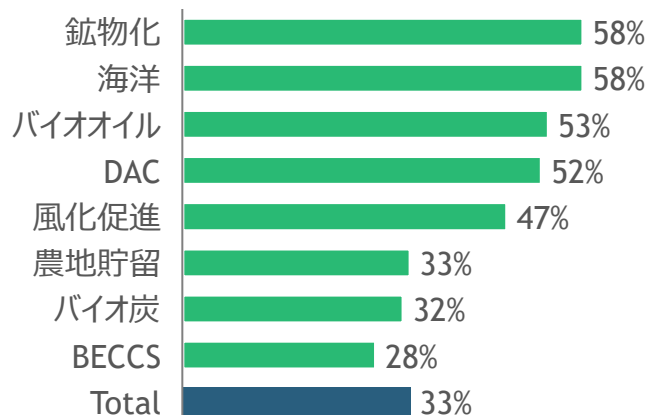
要件の厳格化に伴いMRVの重要性が高まっている

- 各制度・発行体で除去量の正確性、永続性やCo-Benefitの要件も拡大
- 多様な手法 (AI/衛星 等) ・指標(生物多様性等) のMRV技術開発・事業が拡大

CDRクレジットの契約量の推移



'25→'30のCDRクレジット供給コストの削減率



主要クレジット関連制度の品質要件の例

ICVCM CCP	自然系に対して最低40年の永続性要件を設定
EU CRCF	除去量定量化、追加性、永続性、持続可能性 (Co-Benefit) に係る基準を策定
Isometric	1,000年超の永続性、除去量等の算定データの公開等
Verra、GoldStandard	SDGs貢献(Co-Benefit)の第3者検証を義務付

東京都では2050年CNを目指し技術開発からクレジット創出、取引活性化まで多様なカーボンのクレジット施策を実施している

東京都におけるカーボンのクレジット関連事業の全体像

※令和7年度までの主な事業を掲載。今年度公募がない事業も含まれることにご注意下さい

技術開発・PoC

自然系の吸収・除去系クレジット創出モデルの確立

本事業

事業名：吸収・除去系カーボンのクレジット創出促進事業

支援内容：農林水産分野スタートアップ等による自然資源ベースの吸収・除去活動の実証支援（経費負担、伴走支援）

クレジット創出の拡大

J-クレジットを活用した都内中小企業等のCO₂排出削減モデルを創出

事業名：中小企業等における排出量取引創出のためのモデル事業

支援内容：専門家を派遣し削減計画・実行を伴走。目標達成後に設備投資、認証審査費等を助成

クレジット取引・活用

国内外のクレジットを容易に取引できる市場

取組名：東京都カーボンのクレジットマーケット

支援内容：取引システムの無償提供（登録費/利用料無料）、J-クレジットと海外ボランタリーを取扱い、ブロックチェーン等で改ざん防止、格付情報を表示

今年度公募を予定

CDRクレジット創出促進事業

- カーボンのクレジットを活用したCDRの事業化・社会実装等に取り組む事業者に対する支援について、対象となる技術分野等を拡充
 - 期間：3年
 - 規模：3件
 - 上限額：5,000万円/3年

中小企業等が取組みやすい“プログラム型”によるクレジットを創出

事業名：プログラム型プロジェクトを活用したカーボンのクレジット創出支援事業

支援内容：プロジェクト運営者となる中小企業を公募・選定し、成果連動型の協定金を支払い

クレジット活用によるブランディングやプロモーション等の費用を助成

事業名：カーボンのクレジット活用促進事業

支援内容：都カーボンのクレジットマーケットで購入したクレジット活用による排出量算定、ブランディング計画策定・コンサル、プロモーション費を助成

本報告会では、本事業に参加しているスタートアップの成果概要と今後の展望をお伝えする

本事業の概要と最終報告会の位置づけ

本事業の背景・概要

■ 東京は豊富な自然資源を有し、クレジット創出のポテンシャルが高い

- 特に、多摩・島しょ地域を中心に豊かな森林・海洋資源に恵まれている

■ 上記環境を活かし、東京都はカーボンのクレジット関連の取り組みを推進

- 吸収・除去系クレジットをはじめとするカーボンのクレジットの創出、取引の活性化に向けた様々な取り組みを実施中

■ その一環として、東京で吸収・除去系クレジットの創出モデル確立を目指す

- 革新的な技術やアイデアを持つスタートアップと連携し、多摩・島しょ地域の自然環境を活用したクレジット創出の実証事業を支援
- 結果として、農林水産分野の吸収・除去系クレジット創出モデルを東京から作り出すことを目的としている

本最終報告会の位置づけ

- 都が支援中の採択スタートアップが実証事業の成果をご共有
- 特に、これまでの事業成果や、直面している課題、今後の展望を発表



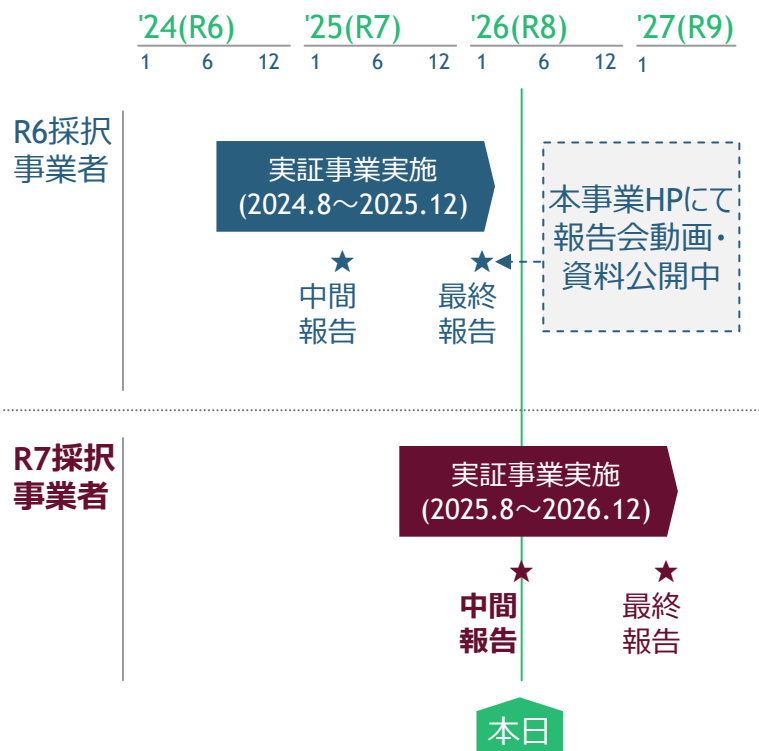
吸収・除去系カーボンのクレジット創出の最新動向をふまえ、
今後クレジット創出等に取り組まれる
方の一助とさせていただきたい



本事業では都内での吸収・除去系クレジットの創出モデル確立を目指し令和6年度から実証事業を実施中

本事業の実施スケジュール

事業スケジュール



令和6年度採択企業・テーマ

企業名 (五十音順)	実証事業事業名
[林業] 	日本版ボランタリークレジット (JVC) 創出に向けた、森林のCO2吸収量等の可視化実証
[水産業] 	東京都島しょ部におけるブルーカーボンをクレジット化基盤整備実証
[林業] 	東京都が保持する森林のオープンデータを活用したクレジット創出の実証
[農業] 	バイオ炭と農地貯留 (カーボンファームिंग) 由来のクレジット創出を促進するモデルの実証
[農業]  株式会社フェイガー	農業従事者による脱炭素の取組拡大に向けたバイオ炭の農地施用効果の見える化と高機能化の実証




令和7年度採択企業・テーマ

企業名 (五十音順)	実証事業事業名
[農業] 	高機能バイオ炭”宙炭 (そらたん)”を用いたカーボンをクレジット創出と消費者向け環境価値の訴求による作物の高付加価値化の検証
[林業] 	衛星・AIを活用したモニタリングの高精度・高効率化および森林管理による水循環の改善効果の可視化による高付加価値化の実証
[水産業] 	日本初のブルーカーボンの深海固定に向けた大規模吸収源創出の実証

本事業では多様なテーマの自然系吸収除去クレジット事業を実証採択

本事業の取組テーマの全体像

令和6年度事業 令和7年度事業

		吸収除去の実施	モニタリング・クレジット発行	付加価値化
農業 	CDR技術 バイオ炭	各分野の主な成果 都内農地のバイオ炭による 収量増・収益性 の改善方法を確立	都内農地に適したバイオ炭施用・サプライチェーンモデルの構築 都内原料を活用したバイオ炭の地産地消モデルの構築	収量増・土壌改善に資する機能性バイオ炭の開発 バイオ炭クレジットによる 消費者向けマーケティング手法 の確立
	CDR技術 土壌炭素貯(農地貯留)	各分野の主な成果 農地貯留(緑肥散布)による 施用効果 を確認	カーボンファームの栽培・炭素貯留効果の検証	
林業 	CDR技術 森林吸収(計画有:人工林)	各分野の主な成果 人工林におけるJクレジットの 低コスト化 による収益拡大を可能に	都の航空レーザーオープンデータを活用したJクレジット申請プロセスの効率化*手法の確立 *現地調査工数の大幅削減 衛星データ・AIを活用したモニタリングの高精度化・低コスト化手法の確立	水源涵養価値の可視化およびJクレジットへの付加価値化手法の確立
	CDR技術 森林吸収(計画無:天然林)	各分野の主な成果 国内外の VC創出~付加価値化販売 までの一連の収益モデルの構築	Lidar/衛星の組合せによるモニタリングコスト削減手法の確立 海外VCS方法論を活用した天然林のクレジット創出ノウハウの獲得	生物多様性価値評価の新方法論*の策定 *日本版ボランティアクレジット
水産業 	CDR技術 ブルーカーボン	各分野の主な成果 島しょ部における円滑な ブルーカーボン創出 ノウハウを獲得	都内島しょ部における 地域連携型ブルーカーボン創出 モデルの構築 海藻の 深海固定 によるブルーカーボン創出拡大手法の確立	

本事業の成果は様々な事業者のカーボンのクレジットの創出・活用に活かしていただくことが可能

本報告会のクレジット関係者への価値



クレジット創出

“ 農林水分野のカーボンのクレジットに取り組みたい...

- 衛星データやAI活用、ブルーカーボンの深海固定等の先進的な手法による**低コスト化**や**創出拡大**の検討が進捗
- バイオ炭による栽培効果やマーケティング手法、森林の水源価値等の**付加価値化**に向けた検討が進捗

“ 関連する技術を持っており、連携プレイヤーを見つけたい...

- モニタリングや定量評価、マーケティング等の新規性の高い技術や手法・ノウハウを有するスタートアップとの連携可能性



クレジット購入

“ 都内で発行されたカーボンのクレジットを購入したい...

- 脱炭素目標達成に必要な「吸収・除去価値」だけでなく、「地産地消/地域貢献の価値」を有するクレジットを創出

“ CO2削減以外の価値を訴求できるクレジットが欲しい...

- 森林の水源涵養価値を付与したクレジットを創出

プログラム

時間	議事次第	登壇者	発表内容	農業系	林業系	水産系
14:00～14:05	開会挨拶	東京都				
14:05～14:15	令和7・8年度東京都吸収・除去クレジット実証事業の概要	事務局	<ul style="list-style-type: none">本事業の概要の紹介			
14:15～14:45	スタートアップによる発表 ①	株式会社TOWING	<ul style="list-style-type: none">農地における高機能バイオ炭 "宙炭 (そらたん)" 活用によるクレジット創出バイオ炭由来の作物のブランド化・消費者認知向上・単価向上に向けたマーケティング			
14:45～15:15	スタートアップによる発表 ②	株式会社ステラグリーン	<ul style="list-style-type: none">衛星データの活用・AI補正による森林クレジットの創出コスト削減と工数短縮森林が蓄積する地下水の可視化・モニタリングを通じた森林の多面的機能の評価によるクレジットの高付加価値化			
15:15～15:45	スタートアップによる発表 ③	株式会社BLUABLE	<ul style="list-style-type: none">島しょ部における、ブルーカーボンの深海固定手法の実証海洋による炭素固定、生態系影響の分析藻場造成コストや、炭素吸収量の計測コストの削減			
15:45～15:50	閉会	閉会				